

おいしいぜんざいで祝福

## 市民図書館で『めばえの日』を開催

2月28日、市民図書館の起工式を祝う『めばえの日』が市民図書館でありました。



↑思わず笑顔がこぼれるぜんざいの味

これは、市民図書館の運営などを支援する『図書館フレンドズいまり』が毎年開催しているもので、会員手づくりの心のこもった温かいぜんざいが来館者に振る舞われました。

また、古本市や図書館専属の合唱団『いすの木合唱団』の美しい歌声が披露されるなど、多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

市民図書館の起工式が行われたのは、今から22年前の平成6年2月26日。新しい図書館を待ち望む市民約200人が建設予定地で概要説明を受



↑ぜんざいと合唱団の歌声で心も温まりました

古伊万里ライオンズクラブが絵本を寄贈

## 『いまりっ子文庫』に新刊到着

2月25日、古伊万里ライオンズクラブが市民図書館に絵本49冊（6万円相当）を寄贈しました。

同クラブは平成15年2月25日に結成し、10周年となる平成24年2月、市民図書館内のイスノキコーナーに本棚と絵本を贈り、『いまりっ子文庫』

を開設。以来、毎年この日に絵本を寄贈しています。前川

日司会長は、「これからも継続して、子どもたちの絵本の充実や環境整備をしていきたい」とあいさつしました。また、同クラブは、市民図書館周辺の清掃などの奉仕活動も定期的に続けています。



↑「新しい絵本をワクワクして読んで」と話す会員

## 郷土の文化財

腰岳と黒曜石シリーズ①

### 黒曜石とは

市民の多くが一度は目にすることがある『黒曜石』。現代では、その価値はただの石ころでしかありませんが、金属加工技術がなかった時代には、石器(刃物)の良質な材料として、極めて重宝されていました。

黒曜石は、火山が噴火した際に地表面に流れ出した溶岩が、急速に冷却されてできたガラス質の塊です。なかでも、腰岳の黒曜石は、その内部の不純物や気泡が少なく、ほかの地域の黒曜石よりもかなり良質なものであったようです。ここで

生産された石器は、九州全域はもちろん、朝鮮半島南部や沖縄本島の遺跡からも数多く出土しています。これほど広い範囲に流通していた石器石材は、日本国内でも非常にまれです。

● 問合せ 生涯学習課文化財係

(☎) 3186

このような歴史上の事実が全国的にも有名であり、学校で使われる歴史の教科書にも載っているほどです。ところが、腰岳の黒曜石に関する調査・研究は、そのほとんどが県外の遺跡で出土したものを対象としているため、腰岳自体の黒曜石の産出状況や遺跡の実態などは明らかにされていません。(来月号に続く)



腰岳から採取された黒曜石